

熊薬同窓会会報

第 49 号

平成19年11月30日
発行

ともに羽ばたく若き夢

熊薬同窓会・副会長

日永田 義治（昭和44年卒）



ついこの間だったような平成の世も、もうすぐ20歳の誕生日を迎える事となりました。平成元年生まれの若者が、薬学2年3年生となり、新しい知識をどんどん吸収して、社会に貢献するために、忙しい学内生活をしていると思うと、離れていても薬学部の緑陰から、静かな励ましの声が聞こえて

と題して熊大薬学部大学院医学薬学研究部の入江教授から、分り易く、薬学部の現状説明がありました。

昨年からの6年制学科の薬学科（55人）と4年制学科の創薬・生命薬学学科（35人）の状況は全国的にも注目されているものです。とくに4年次の共用試験を終了した後の4年次・5年次の実務実習受入れについては、身の引き締まる思いです。

また、最近のトピックスとして、新聞でも広く報道された薬学部の創薬研究センター所長の水鳥教授のアルツハイマー病の原因につながる研究成果など、頼もしい話題も提供されました。その外、現在の熊薬の興味深いスポットの紹介もありましたが、短い時間ではあまりにも膨大すぎて無理でしょう。意外と広い薬学部も高層化して深い杜の中にたたずみ、いろいろと見所があります。訪れた方にはご遠慮なく、宮本記念館に声を掛けて頂ければ、快く「薬学部ぶらり見学」と称して学生さんがお好みのコースで案内説明してくれるはずですよ。

飛躍を続ける母校の若き薬学生・薬学研究のためにも「1-10千人会」の志は、同窓会活動の主体をなすべきものだと痛感しました。

来そうです。

この秋9月22日（土）から23日（日）まで、当地、熊本で第70回九州山口薬学大会が開催されました。例年その懇親会の後に引き続いて熊本大学薬学部の同窓会総会が開かれて来ました。今回は会場を近くのリラックス出来るレストラン・キーブに移して、生バンド演奏など楽しみながら、和気藹藹のうちに、有馬教授の司会のもと熊本の夜を過ごしました。とくに本大会の目玉としての基調講演にご来熊いただいた永井記念薬学国際交流財団理事長の永井恒司先生を囲んで盛り上がりを見せました。その80名を超える参加の中『熊本の現状2007』

目次

ともに羽ばたく若き夢	1	熊薬サークル紹介（バスケットボール部）	20
新任教員紹介	2	庶務報告	21
熊薬ミュージアム紹介③	6	平成19年度 熊薬同窓会総会報告	22
研究室だより	7	博士号取得者	23
卒業生だより	8	計報	23
支部だより	10	学内だより	23
関東支部（東京バッチン会）、近畿地区（銀杏会、楠熊会）		寄付者一覧	24
広島支部（鯉杏会）、福岡支部（蘇陵会）		役員名簿	24
筑豊支部（金峰会）、宮崎支部		個人情報の取り扱いと保護について	24
熊薬、昔は今（24）	14	平成18年度熊本大学同窓会収支決算	25
分野別教員紹介	16	平成19年度熊本大学薬学部予算	25
研究室名の変遷	16	熊薬研究助成会「1-10千人会」収支決算	25
卒業教育講座	17	編集後記	25
熊薬記念樹便り	18	1-10千人会について	26
第6回薬用植物を知ろう in 熊本（阿蘇）	19	熊薬同窓会からのお願い	26
薬学展報告書	20	平成20年度研究助成の申請について	26